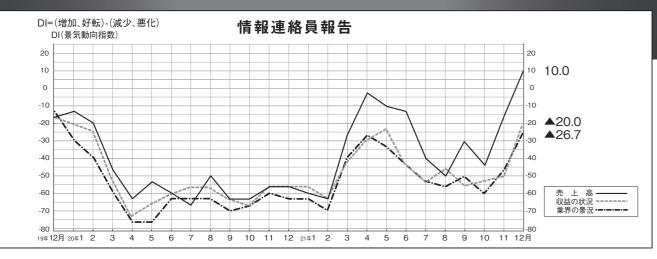
情報連絡員報告を中心とした

県内各業界の動向

2021年12月 (前年同月比)



業界の状況









…やや悪化

生コンクリート製造

コンクリート製品

し、令和3年12月分は減少に転じた。

ナの第6波が心配

機械団地

刃物製造

ロナの広がりが心配。

コロナの影響は軽微。

珊瑚装飾品製造

船舶製造



生コン出荷量は、特に変わったことはない。新型コロ

出荷数量は、前年同月比63%。令和元年5月分の出荷

から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増

加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返

先月に引き続き、売上や収益状況は回復傾向にある。

り、経済活動へのさらなる影響が懸念される。

世界的に新型コロナ変異株による感染が拡大してお

売上上昇の兆しが見えたかと思ったが、一時的なもの

で伸びがなかった。再びコロナ感染の広がりが予想さ

れるため、今後の小売業者への売上が心配される。コ

生産状況は引き続き高い水準で推移している。新型

12月の取引額は前年同月比90%と、依然回復の兆し

…悪化



食品団地

売上高は回復傾向となっている。ただ、燃料費や原材料費の値上がりが続いており、収益面を圧迫し、経営面では厳しいものがある。また、電気料金の値上げが更なる不安材料となっている。



前月同様やや増加。首都圏からは回復の兆しが見えた が鈍化。年末の県内飲食街の回復に期待したがまだ まだの感。新たな感染という不穏な情報も気になると ころ。外食、宴会、イベントの自粛などの影響はある。



テントシート

コロナ禍でイベント関連事業主力の事業所は、大変な状況。組合員1社が12月25日をもつて廃業。感染拡大防止策でイベント関連事業の中止、延期で売上ダウンの状況がまだまだ続いている。



木製品素材生産

スギ・ヒノキともに量は横ばいであるが、価格的には スギは横ばい、ヒノキについては、柱適材を中心に3m 材が1割程度の下落、4m材については横ばいの状況。 具体的に先が見通せない不安がある。



製材

原木の品薄状態は継続している。 前月との比較は(売上・受注)が「不変」から「不変」、 (収益状況)が「不変」から「不変」、(業界景況)が 「不変」から「不変」。



製紙 (家庭紙)

新型コロナウイルスの感染者が減少し、イベント等が再開され始めた為か?人流が多くなり、各種ノベルティ商品の引き合いがやや回復した12月であった。しかし、今月に入り"様子見"の動きがみられる。



印刷

県内需要、県外需要共回復傾向。特に県外需要の一部 業界ではイベント等の開催もあり需要が回復。久々に 前年を上回った。



が見えない。末端の消費者による購買力が低調。

卸団地

1.景気の回復は感じられない。2.昨年コロナの影響を大きく受けており、売上増ではあるが、通常と比べると1割以上売上減である。売上減少や売掛金の回収難などの影響が出ている。



青果卸売

前年度と比較すると売上は増加しているが、コロナ前ほどには戻っていない。業務用関係の納品が多い会社は、依然として厳しい状況である。飲食店、宿泊施設等への納入が多い会社は低迷状態が続いている。



商店街(四万十市)

帰省客が増えている。県外ナンバーの車も多い。地元 の買い物客も動き出した感がある。が、仕事時間が少なくなって困っている人たちがまだまだ多くいる。



生鮮魚介卸売

マグロの入荷はあるが高値で手が付けられなかった。 カツオは順調に入荷。小物の入荷は少なかった。新型 コロナは低迷しているが、以前需要が増えない。今後 の影響も新型コロナの感染次第だと思われる。



旅館・ホテル

宿泊は少し戻りつつあるが、コロナ対策消耗品の増加、燃料費の高騰など諸経費の増加が圧迫している。 大人数での宴会も入らず、第6波も懸念される中、まだ見通しは立たず。



各種小売 (土佐市)

前年度は夜の飲食店には時短要請が出ていたが、今回は忘年会等少し、みんなの動きがみられた。帰省の話も聞くし、オミクロン株を心配しながらも、たくさんの人が動いたように見えた。



飲食店

引き続き食糧品が値上がり傾向、仕入価格が上昇。 感染状況が沈静化し個人消費は好調。業界全体としては前年度同月(既に新型コロナ禍)を上回る売り上 げだがコロナ禍前の同月と比較すると7~8割程度。



ガソリンスタンド

12月には原油価格が一旦下落し、市況もわずかながら値下がりしたが、価格は不安定な状態であり再び値上げの兆しもある。GSはカーボンニュートラル、原油高騰、オミクロンの感染拡大の脅威にさらされている。



旅行業

組合クーポン前年同月対比103%、全旅連クーポン合わせて192%。感染状況が落ち着いてきた影響が大きいが、1月以降は感染状況によって厳しい状況が続くと思われる。



電気機械器具小売

12月度は、全商品平均で93.6%、テレビ前年比76%、エアコン前年比102%、冷蔵庫・クリーナー前年比105%。前年は、助成金があったので良かった。今年は厳しい。



一般土木建築工事

令和3年12月分の公共用生コン出荷量は、前月比93.1%、前年同月比127.7%。公共工事請負金額は前年同月比で85.6%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。



中古自動車小売

前年同月より販売台数は微増。特に高年式、高額車両の問い合わせや注文件数が前月より多いが、流通量の減少による相場の高騰等で、入庫に苦戦をしている。



電気工事

組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比114.5%。新型コロナウイルス感染を受けてサプライヤーの生産に支障が生じている。また半導体不足によって部品・製品の調達に大きな影響が生じている。



商店街(安芸市)

安芸市中心商店街等振興協議会ワークショップが開催。色んなアイデアの実施に向けて具体的に話が進む事を期待。当組合のインスタグラムを開始。商店街のお店紹介や安芸市のイベント情報などを掲載予定。



一般貨物自動車運送

組合実績は対昨年でほば横ばいだった。燃料価格は6円程度の値下げとなったが、依然として高値で推移している。今後のコロナの感染状況によっては更に厳しい状態が続くのではと懸念している。



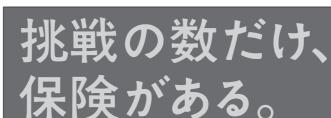
商店街(高知市)

中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比256.7% 台数:前年比108.7%。(昨年8~12月 土日祝無料 サービス実施)土日を中心に人出も増加傾向にある が、昼夜含めて中高年の動きは鈍いように思われる。



タクシー

昨年、高知市の支援で販売した食べタククーポンが好評で、タクシーにも利用者が多く、事業者も喜んでいる。 反面オミクロン株の出現で先行きが不安である。 運転者不足が深刻。



To Be a **Good Company**



東京海上日動



13 ●へんしも情報 vol.250● **14**